

平成23年3月定例議会

平成23年3月3日（木）

村長 提案説明

本日ここに、平成23年朝日村議会3月定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、お揃いでご出席をいただき、厚くお礼を申し上げます。

初めに、去る2月22日、ニュージーランドで発生した大地震により、お亡くなりになられました方々に、心からお悔やみを申しあげ、災害に遭われた数多くの皆さんに心からお見舞い申し上げます。

この災害で、特に、多数の邦人が語学研修等で滞在しており、未だに安否の確認が取れていない方々には一刻も早い救出を願うものでございます。

一方、国内では本年1月、宮崎・鹿児島県境の霧島山、新燃岳の爆発的噴火は、近隣の地域に大きな不安と打撃を与えております。これらを踏まえ、活火山であります上高地の焼岳につきまして、国の火山噴火予知連絡会によりますと、活動度が高い活火山に相当するランクBに分類されております。この度、関係者により噴火活動に備えた「火山防災計画」が策定され、気象庁と連携して噴火警戒レベルに応じた安全確保を図る事になりました。

当朝日村では、過去に焼岳の火山活動による降灰被害等に遭っておりますので、今後は注視してまいらなければならないと捉えております。

また、昨年11月に発生しました、高病原性鳥インフルエンザにつきましては、現在8県に及び大被害が発生しておりますが、当長野県での被害は確認されておられません。一日も早い終息を願うものでございます。

さて、私の村長任期も、残すところ後わずかとなり、今定例会が私にとりまして1期目最後の議会となり、また、来る4月には、村長・村議会議員選挙を控えております事などから、就任以来取組んでまいりました、4年間の村政運営を総括し、併せて、私の所信の一端を申しあげ、議会を始め村民の皆様のご理解を賜りたいと存じます。

私は、4年前の村長選挙におきまして、「新しい感覚で朝日村をつくろう」を基本理念に、時代の流れを汲み取り、現在・未来を見据えた物の見方、発想による、行政運営に心掛け、村民が健康で安心して暮らせる、福祉の

充実した村づくりに取り組んでまいりました。

お陰様で、議会を初め、多くの村民の皆様のご理解ご協力を賜り、公約・マニフェストの実現と、村民生活に関わります重要事項を優先し、活力と魅力のある村づくりに、村民の皆様と共に取り組んでまいりました。

村長就任早々の6月議会では、朝日村が朝日村として持続するために、役場庁舎建設を保留といたしました。その際、議会一般質問者の全議員から厳しいご意見をいただく中で、異例の定例会の会期を延長してご審議を賜り、議員の皆様から、ご理解ご協力をいただきました事が、現在の朝日村につながっているものでございまして、改めて感謝を申しあげるのでございます。

この様に、就任時の財政は実質公債費比率が22.4%と、県内81市町村のワースト4であり、新しい事業に取り組むための借金、いわゆる起債は県の許可が必要となっております。極めて厳しい状況でありました。これを健全財政にするためには一朝一夕では改善できる状況ではなく、相当な時間が必要となります事から、責任者、リーダーである私が率先して身を削り、議会のご協力をいただいで進めて来たところでございます。

この事は、職員にも危機意識が芽生え、職員による行財政改革プランを作成し、事務事業の効率化を図ってまいりました。

私は、就任早々、各職場の実態を把握する中でAYTの有線放送施設は、部品の確保ができず、既に限界に来ており、何時大きな故障があっても不思議でない状況で、至急の対応が必要と判断し、国・県と直談判を進め、県営中山間総合整備事業の最終年に間に合うことができ、予算事業費3億円で、県内では最新鋭の防災行政無線による村内ネットを構築することができ、非常時の災害に対応できる体制となりました。

また、AYTに関しましては、現行のアナログテレビ放送から、デジタル放送化への切替えに伴います、有線テレビネットを、株式会社テレビ松本ケーブルビジョンに譲渡し、本年7月からのデジタル放送への対応ができる事となりました。今後は各家庭に伺い、順次取付工事を行います。村民の皆様には、不明な点がございましたら、AYT事務局へご連絡をいただきますようお願いを申し上げます。

なお、災害対策につきましては、先程の防災行政無線網を始め、消防法の改正による、火災警報器の全戸設置、消防団詰所の耐震化工事及び各分団の消防車を、計画的に更新をしております。避難場所となります公共施設の改修も、積極的に取り組むことができました。

私は、村民の皆様と共に進める村づくりのため、就任以来、出前村政等を通じ、村民の皆様との対話を進めながら、議員の皆様とも協議を深めて

まいりました。開かれた村政を進める上で、昨年、村のホームページのアクセス件数は 131,000 件となっておりまして、朝日村への関心度も、年々高まってきていると感じる事ができ、昨年スタートいたしました定住促進対応は、今後の重要課題と促しております。

次に、村民の暮らし、環境の分野におきましては、路線バス廃止に伴い、平成 21 年 7 月から朝日村独自の路線バス及びデマンドタクシー「くるりん号」を運行し、村民の足の確保を図り、順調な運行をしている所でございます。

平成 20 年度には、小さな村のきめ細やかな行政運営の為に「すぐやる係」を設置し、機動力を発揮している所でございます。

また、平成 9 年に県内ではトップで全村普及をいたしました、下水道事業について、課題でありました維持経費の節減を目的に、国・県への粘り強い要望を行い、平成 21 年度に、全国でも注目される下水道統合を行う事ができました。

そして、生活基盤の整備に村道、水路等の改修を積極的に進めましたが、懸案でありました堤防道路につきまして大きな成果を見る事ができました。事業を進める時、県との協議で何時も要求をするだけではなく、私共としてできる事の協力を含めた協働の考え方から、村民有志の方々による鎖川河川愛護会を発足し、地域の清流が守られている事に感謝をいたしております。

国が推進する、環境政策、地球温暖化対策に足並を揃え、県のグリーンニューディール基金を活用した公共施設、及び、幾拾年も手をつけていない街灯のリニューアルも含め、省エネ化を実現しました。この取組も県内では注目をされている所でございます。また、太陽光発電の補助、薪ストーブ等の補助を含め、クリーンな村づくりの一助になるものでございます。

その他では、村の施設使用料を無料化した事に伴い、利用者が施設を大事にする心が育まれてきております。

次に、村民の健康、福祉につきましては、村民の健康を守る拠点として健康センターを開設しました。先人、先輩が取組まれた健康村づくり活動は、何時の時代においても重要課題でございまして、平成 21 年度からアポプレキシー 脳卒中のない村づくりに村民の皆様と共に取組んでいる所でございます。

新しい取組としましては、中学生まで医療費を無料化し、小学校 6 年生を対象とした子宮頸がんワクチン接種の全額補助を行い、平成 22 年度か

らは39歳以下のいきいき健診を無料として、受診率の向上を図り、出前健康講座の回数を増やしたきめ細かな活動を進めております。そして、障害児のための「にじいろキッズ」の開設を始め、精神障害者デイケアセンター「たんぽぽの会」が発足するなど、家に閉じこもりがちな皆さんの居場所、相談場所を確保することにより、本人と家族を支援するボランティア活動ができる対応を図ってまいりました。

また、ひとり暮らしの高齢者が他人と交流でき対話ができる「ふれあいの集い」の開催や、歳末にはボランティア及び民生委員の協力をいただき、おせち料理に近いふれあい料理を宅配し、健康で越年されます様元気づけの取り組みを行っております。

次に、産業、観光につきましては、一向に回復の兆しが見えない経済情勢であります。朝日村は農山村として、食料の供給は勿論の事、水資源のかん養、森林整備・保全による地球温暖化対応など、国土を支え国民の生存を支えている公共的機能を果たしてきております。

そこで、農業におきましては、平成5年に着工した県営畑地帯総合整備事業は、平成20年度まで16年の歳月を経て事業費34億円を投入し、古見原、西洗馬原農地の再整備を行いました。しかも、これ等の事業につきましては、地権者負担分の一部を村が肩代わりして、農家の負担の軽減を図ってきました。

また、平成21年度には、県営畑総事業による歪み分につきましては、古見原、西洗馬原23ヶ所の道路、排水路等の補完工事に事業費4,400万円を投入し、農業地帯のきめ細かい基盤整備を実施しました。しかしながら、平成20年度末に、事業が終了した県営畑総事業につきましては、2年前の平成18年度に竣工祝を行い、新信濃変電所西側公衆トイレの場所に竣工碑が建立されております事は、腑に落ちない所でございます。

いずれにいたしましても、整備をされました古見原、西洗馬原の農地は、全国に誇れる農地でございます。農家の皆様には、元気よく農業経営に励まれますよう期待をするものでございます。

活力のある産業振興と、雇用促進を図るため誘致をいたしました、カンロ株式会社につきましては本年2月に操業開始となりました。今後はゴミ工場として順調に発展される事を願うものでございます。

下水道処理施設統合に伴い、昨年7月と9月にOPENいたしました、朝日村里づくり館は、間伐材を利用した実験施設として、大道加工所は村民の皆様の農産物加工施設として、針尾加工所は特産品を考える会の加工施設拠点としてスタートをいたしました。今後はそれぞれに携われており

まず皆さんは勿論の事、村民の多くの皆さんから関心を持っていただき、積極的に参加されますと、将来に亘り有効活用が計れるものと信じております。

近年、全国的に野生動物が住宅地帯に出没し、人と野生動物との生態系が問題になっておりますが、私は前回の選挙で、全国的にも異質な選挙公約を掲げました。当時から猿、猪による農作物の被害、通学児童への危害が心配されておりました、当時の対応では効果が低く、町村会等を通じて県・国へ要望を行う等、重要視してまいりました。その結果、平成19年12月の国会で鳥獣被害防止対策特別措置法が制定され、国を挙げた対策が採られました。これにより平成21年度から、地域での協議が整いました所から里山地域にフェンスを設置し、野生動物との住み分けを図ってまいりました。山を背にしている皆さんの協力態勢に期待をするものでございます。

朝日村としての特色のある村づくりを進める中で、就任時はスキー場の運営が課題となっておりますが、平成20年度から指定管理者制度を導入し、その道のプロであります檜山スノーテック株式会社に運営を委託した事により、小さな村の小さなスキー場として、その特徴を生かした取組により、村民のためのスキー場として厳しいスキー業界を乗り越える様願っております。

また、緑の体験館、緑のコロシアム、野俣沢林間キャンプ場におきましても指定管理者により運営を図る事ができております。

次に、教育、文化、子育て支援につきましては、少子高齢社会が進行する中で、未来を担う子供達は、国の宝であり地域の宝でもあります。従来は、子育て支援は福祉分野と教育分野での対応でありましたが、超少子社会を迎えるに当り、一貫した子育て支援が肝要であることを踏まえ、平成20年度から保育行政を教育委員会に一元化して取組んだ所でございます。

更に、近年の社会経済情勢は、子育て時期に核家族化を含め両親の共働きが余儀ない状況となっております事を踏まえ、子供の成長期は、人格の発達過程で、子供を取巻く環境づくりは大きな影響がある事から、子供達の独自性や自立性、社会性を身につける為、総合的に子育て支援を行う拠点施設として、昨年4月に子育て支援センター「わくわく館」をOPENし、連日多くの利用をいただいている所でございます。

その他、保育料につきましても、近隣では最低の料金で子育て家庭の負担軽減を行い、また、お子さんの出産祝として10万円の支給や、お子さん用の椅子を記念に贈呈するなど、中学生の医療費無料化を含め、若い方々

や子育て中の皆様には、魅力のある村づくりを推進している所でございます。

教育分野におきましては、一村一校の環境から、建築後22年経過しました小学校校舎の補修を始め、パソコン、テレビ等の教材を更新し、児童の使用する机、椅子を村内産のカラ松材とし、校舎に合せた木の温もりを感じながら、よく遊び、よく学び、たくましく成長される事を願うものでございます。

文化の分野におきましては、歴史民俗資料館及び美術館は、縄文むら施設として朝日村だけの無認可施設でございましたが、教育委員会において県と協議する中で、平成20年12月に旧図書館を含め、博物館法に基づき県が認めた博物館として登録がされました。

公民館及び縄文むら施設につきましても、施設の補修を行い施設の延命に取組み、ゲートボール場及びテニスコートを全天候型のコートに張替えた事により、本年の冬期には、テニスコートで学童野球チームが練習をするなど、両施設が多目的に利用され利用効率があがっております。

その他では、西洗馬光輪寺の薬師堂が昨年3月に県宝指定されました。村の貴重な文化遺産として、村民の皆さんを始め地域の方々に再認識され、後世に受け継がれる事を期待するものでございます。

この様に、これまでの4年間を振り返りますと、数多くの成果を確認できます事は、私にとりまして大変嬉しい事でございます。この4年間、村の責任者という認識のもと、ひたすら任務を全うすべく、全力で取り組んでまいりました。車の両輪として村政運営に当たっていただきました議会を始め、多くの村民の皆様、及び、私の意を理解し村民の為に事務事業に取り組まれた職員に対し、心から感謝を申しあげるものでございます。

私は、只今申しあげました過去4年間の村政運営を振り返る中で、少子高齢社会が迅速に進むこれからの社会は、先人が経験した事のない、前例のない社会を迎えるに当たり、朝日村が朝日村として持続する持続可能な村づくりをどのように取り組むか、新たな課題が山積しております。

このような経過を踏まえ、朝日村の将来展望、道筋をつける事が私に課せられた責務ではないかと捉え、12月議会において次期村長選への立候補を決意し、2月13日に公約マニフェストを発表した所でございます。

ここで、具体的な施策について若干申しあげてまいりたいと存じます。

まず、「新しい感覚で朝日村をつくろう」を継続して基本理念とし、時代の流れを汲み取り、現在・未来を見据え、しかも郷土朝日村の良さを再認識すると共に、これを生かし、個性あふれる生き生きとした力強い村づくりを、村民の皆様と共々進めてまいるのでございます。

具体的には、朝日村が持続して行くために、また、村民の皆様が安心して暮らせる村づくりのために、財政の健全化・安定化を引続いて進めるものでございます。

更に、朝日村として持続可能な村づくりには、人口確保対策が重要な課題でございます。婚活の応援や定住促進を含め、村民の皆様の知恵をお借りしてまいりたいと存じます。

そして、村民の皆様と共に村づくりを進める上で出前村政、情報公開を充実し、益々進行します少子高齢社会に対応した子育て支援、高齢者対策福祉施設の充実を図らなければならないと考えております。

この様な状況で、活力のある個性あふれる村づくりには、農業、商工業、林野行政の活動充実や、スキー場及び緑の体験館の整備等が必要と捉えております。

また、村民が生き生きとした人生を歩むためには、健康は最大の財産であります事から、引続き健康村づくりに力を入れてまいるのでございます。

なお、力強い村づくりを進める上では、まず、災害に強い村づくりを目指し、近年取組まれていない治山事業にも力を注ぎ、災害に強い村民の安全対策を含め、保留としている役場庁舎につきまして、研究、検討してまいりたいと考えております。

それでは、只今上程されました議案につきましてご説明を申し上げます。

本日提案いたしました議案は、条例 7 件、村道の廃止、認定 2 件、指定管理 3 件、予算 15 件の計 27 件でございます。

まず、朝日村国民健康保険条例及び朝日村後期高齢者医療に関する条例の一部改正につきましては、法律の改正等に伴い、所用の改正を行うものです。

次に、朝日村農産加工施設設置条例及び朝日村里づくり館条例の一部改正につきましては、両施設を指定管理とするものでございます。

次に、朝日村村営水道条例等の改正につきましては、朝日村簡易水道と

御馬越簡易水道を統合するための条例改正でございます。

次に、朝日村放課後児童クラブ設置条例及び朝日村子育て支援センター条例につきましては、所用の改正をするものでございます。

次に、村道の廃止及び認定につきましては、道路法に基づき議会の議決を求めるものでございます。

次に、議案第 11 号から議案第 13 号までは、針尾加工所、朝日村里づくり館、古見ふれあい親水公園施設を指定管理者に指定管理させるため議決を求めるものでございます。

次に補正予算でございますが、今回の補正は年度末を迎え、計数整理が主な内容でございます。

この内、議案第 14 号 平成 22 年度 朝日村一般会計補正予算（第 7 号）につきましては、歳入、歳出に 1 億 4,000 万円を追加し 29 億 8,264 万円とするものでございまして、有線テレビのチューナー取付け委託 840 万円、財政調整基金積立 7,300 万円、右岸土地改良区の債務負担の繰上償還金 1 億 2,800 万円が主なものでございます。

次に議案第 22 号から議案第 28 号までは平成 23 年度の新年度予算でございます。

平成 23 年度当初予算につきましては、本年 4 月に統一地方選挙が予定されていることから骨格予算としております。

まず、議案第 22 号 平成 23 年度 朝日村一般会計予算につきましては、歳入、歳出の総額が 23 億 2,350 万円の前年度に対し 4.2%の減額となっております。

歳入では村税の総額を前年度とほぼ同額の 5 億 8,126 万円。

地方交付税は前年度対比 6.2%増の 11 億 3,300 万円が主なものでございます。

歳出では、人件費につきましては一般職給与が職員数の減により前年度より 2,200 万円の減額となっております。

物件費は有線テレビの民営化に伴う経費削減により前年度対比 4.9%減の 3 億 1,804 万円となっております。

扶助費は、子ども手当が一部 1 万 3,000 円から 2 万円になる事により、

前年度対比 5.5%増の 2 億 3,757 万円となっております。

補助費では前年度行なった土地改良事業の債務負担の繰上げ償還等により、前年度対比 4.9%減の 3 億 8,859 万円となっております。

普通建設事業費では骨格予算編成により継続事業のみを計上したことにより前年度対比 21.2%減の 1 億 739 万円となっております。

公債費では平成 19 年度大規模な繰上げ償還を実施したことにより歳出割合が 12.8%まで減少いたしました。

以上が一般会計の主な内容でございます。

次に議案第 23 号 平成 23 年度 朝日村国民健康保険特別会計予算につきましては、歳入、歳出の総額が 4 億 2,220 万円で前年度より 1.5%増額となっております。

次に議案第 24 号 平成 23 年度 朝日村介護保険特別会計予算につきましては、歳入、歳出の総額が 3 億 9,500 万円で前年度対比 4.8%の増額となっております。

次に議案第 25 号 平成 23 年度 朝日村後期高齢者医療特別会計予算につきましては、歳入、歳出の総額が 3,735 万円で前年度とほぼ同額となっております。

次に議案第 26 号 平成 23 年度 朝日村簡易水道特別会計予算につきましては、歳入、歳出の総額が 1 億 80 万円で前年度対比 9.2%の減額となっております。

次に議案第 27 号 平成 23 年度 朝日村下水道特別会計予算につきましては、歳入、歳出の総額が 3 億 3,640 万円で昨年度対比 2.5%の減額となっております。

次に議案第 28 号 平成 23 年度 あさひプライムスキー場事業特別会計予算につきましては、歳入、歳出の総額が 1,708 万円で、この内 1,300 万円は借入金の返済でございます。

以上、本日提案いたしました議案についてご説明申し上げましたが、担当課長及び担当者から補足説明をいたしますので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。